



…『キラキラ』の由来…

NPO・ボランティアなどの活動が活発になり、多くの市民の顔がキラキラ輝くようにという願いを込めました。

なくそう迷惑行為！モラル・マナーアップ北九州

NO:85 平成21年5月15日

…つぶやきサロン…

市民センターを拠点とした地域づくり
～地域で暮らすということ～

暗い夜道を照らしてくれる外灯、子供たちの楽しい遊び声が聞こえる公園、年長者などの憩いの場となっている集いの家、地域で催されるお祭りなど、私は少なからず恩恵を受けていながら、それがどのように運営されているのか考えもしなかった。市民センターでまちづくりの仕事に5年間携わった。そして、それらは私たちが支払う町内会費、市の助成金で賄っており、町内の役員や団体のボランティアによる活動で運営されているということを知った。

市民センターは小学校区に概ね一つ設置されており、管理運営は校区のまちづくり協議会が市から委託されている。それまで、類似公民館、老人いこいの家、公園や青少年育成協議会など個々の団体に直接出していた補助金を、地域総括補助金制度を導入することで、補助金を一括してまちづくり協議会に支払い、地域の話し合いによって地域づくりを行うという方向に進んでいる。地域が結束して地域づくりを考え、地域の力をつける時代になってきたのだと思う。

最近、人々のニーズが多様化し、防犯や災害に対する不安も高まり、地域での細かな対応が期待されている。これらの問題等を解決するには「地域力」が試される。

地域は、乳幼児から年長者、障がいを持たれた方、一人暮らしの年長者などいわゆる弱い立場の方などいろいろな方が住んでいる。それぞれが安全で安心して幸せに暮らせる地域であるためには、地域は住民の声が反映され、民主的に運営されることが望まれる。私たちにできることは、他人任せにしないで地域づくりに参加することだと思う。まずは自分たちの校区の市民センターがどのような所か知ることから始めよう。

自分の暮らしている地域が自分にとって愛すべき所であるために…



北九州NPO研究交流会

北九州市障害福祉ボランティア協会

佐々木 直子

第90回・サポートセンターの日/2009・4・27

☆ NPO活動発表会 ☆

～地球環境の保全を地域から発信～



NPO法人 筑豊山の会
理事長 太田 徹哉さん

筑豊山の会の歴史は古く、1956年に筑豊地区の各炭鉱の山岳部が合併して設立されました。1972年に北九州国定公園に指定された福智山の自然保全と山の素晴らしさを後世に伝えることを目的として2008年にNPO法人格を取得しました。

福智山は直方市、北九州市小倉南区、田川郡福智町を跨ぐ、標高901mの山で周辺には帆柱高原などたくさんのハイキングコースがあり、市民のレクリエーションに利用されています。1973年、登山者の安全の為に9合目に避難小屋「荒宿荘」を建設し、小屋の横にある水源を利用して「たぬき水」という水場を開設しました。以後24時間無料で開放しており今日に至っています。また、2006年には直方市の起業家の方をはじめ、たくさんの方々の寄付金によってバイオトイレを設置し、登山者に利用してもらっています。

現在、そのバイオトイレが自然環境の面でも、登山者にとっても「日本一のトイレ」になるようにとトイレトーパーの補充や清掃、トイレの稼動に必要な軽油の運搬などを定期的に行っており、多くの登山者に喜ばれています。

また昨今、若者や子供たちの登山離れが著しいのを危惧しており、地元の小中学生を山開きに招待したり、8月には学校に馴染めない子供たちとのキャンプを開催するなど子供たちの健全育成にも力を注いでいます。

現在会員の増加がなく、経済的にも会の運営が厳しい状況で、トイレに募金箱を設置するなどの工夫をして、今後も福智山の自然保全や、登山・キャンプを通して子供たちの健全育成のための活動を継続していきたいと思っていますので、たくさんの方々のご理解とご協力をよろしくお願いします。



若松秋桜会
代表 久永 恵美子さん

平成4年に若松地区緑化運動の一環として行われたひびき灘埋立地のコスモス街道のコスモスの種まきに参加したことからボランティア活動を意識し、2年後の平成6年に主婦50名からなるボランティアグループ「若松秋桜会」を結成しました。

当初は毎年11月にグリーンパークでフリーマーケットを開催し、その収益で(財)国際交流協会を通じて留学生の生活支援をしたり、地域施設に寄付をするなどの活動を行っていましたが、平成9年に地球温暖化防止京都会議(COP3)に参加したのをきっかけに環境問題に目覚め、様々な環境問題運動を推進しています。

まず最初に取り組んだのが、環境庁が作成した環境家計簿を利用した地球温暖化防止の推進です。そのままでは使い難かったため秋桜会で試行錯誤しながら、より使い易く改訂した家計簿を現在発行しており、まずは主婦の皆さんに地球の現状と問題を意識してもらうことを提唱しています。

また、使用済み切手、テレカ、書き損じはがき回収やベルマーク集め、トレーや紙パックの回収箱設置運動をはじめとして、現在は廃傘布を利用したマイバック運動、ペットボトルのリユース風車などエコロジー活動に積極的に取り組んでいます。マイバックは廃傘布だけでなく、着物地やネクタイ布を再利用したり、カセットやビデオテープを編んで製作したものなど市販の既製品と見劣りしないほどの出来栄で、エコライフステージで販売しています。また、ペットボトル風車はいろいろな地域の小学校や市民センターなどに出向き、その製作指導とともに地球温暖化に対する問題意識を普及させています。

このような活動によって「地域環境保全功労賞」など数々の賞を受賞しており、今後も環境問題への取り組みを継続していくことが大事だと考えています。

イベント情報

◆自然海浜を守ろう「クリーンアップ大作戦」

海岸に打ち寄せるゴミや不燃物の回収及び草刈の清掃活動を行います。

○日時：6月21日（日）10：00～12：00
（9：30～受付）

○会場：もし少年自然の家前の海岸
（いさんだの浜、やまえだの浜）

○対象者：一般市民 ○参加費：無料

○申込方法：個人参加は当日受付
団体参加は事前に電話連絡

○問合せ先：北九州市立 もじ少年自然の家
TEL093-341-1128
FAX093-341-1118

◆地域リーダー養成セミナー

前半は生涯学習を基底とした地域づくり、後半は地域リーダーとしてのスキルアップを目指します。

○日時：6月2日～8月4日（毎火曜 全10回）
10：00～15：00

○会場：北九州市立生涯学習総合センター

○受講料：2,000円

○応募締切：5月26日（火）

○申込方法：所定の申込用紙に必要事項を記入の上、FAXまたは郵送

○問合せ先：北九州市立生涯学習総合センター

TEL093-571-2735

FAX093-571-0943



助成金情報

★トヨタ環境活動助成プログラム

環境保全のための次の世代を担う人材の育成と環境問題の解決を目指す民間非営利団体等が実施するプロジェクトを助成しています。

☆助成対象テーマ：「地球温暖化」と「生物多様性」

☆助成対象：

民間非営利団体を助成対象とし、プロジェクトの実施地域が日本国内であること。

☆助成金額：一件あたり上限200万円

☆募集締切：5月29日（金）（必着）

☆トヨタ環境活動助成プログラム事務局

〒100-0004

東京都千代田区大手町2-3-6

TEL03-3272-1925

FAX03-3272-1926

Eメール toyota-ecogrant@mri.co.jp

<http://www.toyota.co.jp/jp/environment/ecogrant/>

★「丸紅基金平成21年度（第35回）社会福祉助成金」

国民福祉の向上に資することを目的とし、社会福祉事業に対する助成を行ないます。

☆助成金額：総額1億円

1件当たり原則として上限200万円
（50件以上の助成を行います）

☆応募締切：6月30日（火）（当日消印有効）

☆社会福祉法人 丸紅基金

〒108-0014

東京都港区芝5-20-6

丸紅東京本社 三田別館4階

TEL03-5446-2474・2475

FAX03-5446-2476

Eメール mkikin@marubeni.com

<http://www.marubeni.co.jp/kikin/recruiting.html>

知って納得、NPO・ボランティアのあれこれ

Q. NPO法人は特定非営利活動以外はやってはいけない？

A. 答えは、「いいえ」です。

NPO法人は、特定非営利活動を行うことを主たる目的としなければいけません、団体の定款で「その他の事業」として定めれば、収益を目的とした事業を行うことができます。

その場合は、会計を特定非営利活動の事業と区分し、収益を特定非営利活動に充てなければなりません。

「その他の事業」が、その団体のミッション（社会的使命）の実現にとって必要不可欠なものか、きちんと考え、不可欠なものに限って行うことがよいと思われます。



NPO法人の申請・認証状況

全国のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成21年3月31日現在

	受理数	認証数	不認証数
都道府県	35,412	34,205	420
【福岡県】	1,276	1,248	1
内閣府	3,218	2,993	120
全国計	38,630	37,198	540

北九州市のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成21年4月30日現在

	受理数	認証数	不認証数
【北九州】	266	241	—



財団法人助成財団センターの2009年度版

「NPO・市民活動のための助成金応募ガイド」のご案内

福祉・文化・国際・環境などの各分野の助成金情報が掲載されています。応募書類の作成のポイントや選考時の着眼点など「助成金応募の手引き」も付いています。グループの活動資金や設備・備品等の充実に役立つ内容です。サポートセンター内で閲覧できますので、ご利用下さい。

第4回北九州市民サミットが開催されました。

恒例となっている市民サミットが4月18日（土）に九州国際大学 KIU ホールにて開催されました。

今年のテーマは「つながれ！100万人の一步!!～私達が活動を続ける理由(わけ)～」でした。

市民活動団体や企業、ボランティア個人などがプレゼンテーション部門、ブース型部門に分かれ、活動の発表が行われました。参加者は応援したいと思った活動に投票し、それは応援金として反映され、団体に寄付されます。当日は好天にも恵まれ、多くの市民が交流を深めることとなりました。



北九州市市民活動サポートセンター

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4
北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”1F

TEL 093-562-5309 FAX 093-562-5310

URL <http://www2.kid.ne.jp/v-net/> E-mail: support3@axel.ocn.ne.jp

市民活動サポートセンターでは、NPO・ボランティア活動に関する相談や情報の提供を行っています。また、団体間のネットワークづくりの促進のため、定期的な交流会を開催しています。

- ◆サポートセンターの日 …毎月テーマを変えて、交流会をしています。
- ◆専門相談員が相談に対応…月～土曜日 17:00～21:00
日曜・祝日 13:00～17:00
- ◆ミーティングコーナー…パーティションで仕切った無料の会議室。
※要予約
- ◆掲示板スペース…団体や活動に関するチラシ等を掲示しています。
- ◆利用時間 月曜日～土曜日《10:00～21:00》
日曜日・祝日 《10:00～17:00》
【休館日】5月28日（木）6月25日（木）

編集後記

私の前世はきっと、南の島で生活していたと思います。島に行くと血が騒ぎます。と言っても、私自身が島で生まれ、島で育ったので、それもあると思いますが…島に流れるゆっくりした時間が大好きです。いまだに鍵は施錠していません。色んなものを載せて軽トラのおじさんの移動スーパーが毎日来ます。島のお母さん達が三々五々集まってきた、買い物とおしゃべりをして帰ります。私は人ごみや行列が苦手です。また、南の島に出かけてエネルギーを蓄えたいと考えています。 byパクン